

まちの話 だい

2月13日 | みんなで挑戦のり巻き作り

初倉南小学校の5年生が、大井川農業協同組合の協力のもと、のり巻き作りを行いました。

使用した米は、子どもたちが5月に田植えをし、9月に収穫したもの。親子でのり巻き作りをした後に、5年生全員で6.8mの長いのり巻き作りに挑戦しました。児童は「長いのが作れてうれしかった。クラスの子とも話ができて、仲を深められた」と話しました。



2月14・15日 | 地紅茶の祭典が最終章 ^{フィナーレ}

2年前から、市内の茶農家を中心となり開催してきた「島田地紅茶フェスティバル」の集大成として、「第23回全国地紅茶サミットin島田」が開催されました。

市内外から37軒の生産者が自慢の紅茶を販売した会場には、2日間で約4,000人が来場。地紅茶の飲み比べ・お茶会などを体験しました。紅茶の飲み比べを体験した人は「味と香りの違いがよく分かり、飲みやすい」と笑顔で話しました。

2月24日 | 日本の文化を体験

市内のANS日本語学院の生徒約50人が、金谷公民館で練り切り作りを体験しました。

これは市のインバウンド課題解決プロジェクトの一環によるワークショップ。地場産品を使った緑茶餡とみかん餡で、おしまちゃんとバラの練り切りを作りました。参加した学生は「初めて作ったけど楽しかった。他の日本文化も体験したい」と笑顔で話しました。

